

TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年2月27日

我孫子市小中一貫教育だより

第330号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

今年度も、各中学校区で小中一貫の日を実施したうな～

我孫子市では、各中学校区で「小中一貫の日」を設定し、小学校6年生が中学校に登校して、中学校の授業や部活動の見学、体験などを行っています。今年度も1月を中心に各中学校区で「小中一貫の日」が実施されました。その様子を一部紹介します。

※湖北中学校区では感染症の広がりにより、感染防止のため中止となりました。

布佐中学校区

1月19日（金）に、布佐中学校区で第2回布佐中登校が行われました。今回の内容は、「中学校の授業体験」と「部活動見学」でした。

「中学校の授業体験」では、6年生全員と中学校3年生全員が合同で英語の授業を受講しました。7つのグループに分かれた後、中学校3年生は6年生へ生徒会活動や委員会活動、そして部活動の紹介をそれぞれ英語で行い、6年生から質問が来た場合は、中学生が英語で答える、という活動を行いました。授業の最後には、カフトと呼ばれるソフトを用いて、タブレット端末を利用して布佐中学校についてゲーム形式で振り返る作業を行い、小学生と中学生が力を合わせて楽しみながら学ぶことができました。



部活動見学は、例年は教員が各グループを案内しておりましたが、今年度は生徒会メンバーを中心としたリーダーの生徒たちが案内役を務めました。各部活動の場所では、リーダーから説明を受けながら6年生たちは興味津々で見学しました。終わりの会では、「〇〇部で頑張りたい」というような、具体的な感想を述べる児童もあり、中学校での活動イメージがまた一つ増えた行事となりました。



久寺家中中学校区

1月25日に、久寺家中中学校区で小中一貫の日を実施しました。

この日にあわせて、最初に我孫子市社会福祉協議会と我孫子北地区社会福祉協議会の協力のもと、各小学校の特別支援学級の6年生と中学生、そしてボランティアとして中央学院高校と県立柏高等学校の生徒が集まり、「ボッチャ交流会」を行いました。最初は緊張した面持ちの小中学生でしたが、高校生たちの優しいリードで、一緒にボッチャの試合を楽しみました。それぞれ事前にルールも学習していたので、勝敗を決める場面ではやりとりが白熱し、勝敗が決まると会場は笑顔

と拍手でいっぱいになりました。短い時間でしたが、とても充実した時間となりました。

続いて、6年生が久寺家中中学校へ登校しました。体育館に集合すると、中学校の生徒会が中心となり、全体会を行いました。生徒会長や校長先生の話に続き、代表の中学生が、英語のスピーチや総合学習の発表、合唱を披露します。小学生たちは、真剣なまなざしで先輩方の姿を見つめていました。後半は、部活動体験と見学を行いました。小学生はそれぞれ事前に希望した部活動で中学生に教えてもらいながら体験を楽しんでいました。



白山中学校区

1月26日に、白山中学校区で小中一貫の日を実施しました。



最初に、各小学校の6年生は、白山中学校の3年生の教室に登校し、今日の予定や内容について、動画や担当の中学校の先生から説明を受けました。続いて、各小学校、各学級で小グループを作り、グループごとに予定していたコースで中学生の授業を参観して回ります。中学校1、2年生の全てのクラスで授業を展開していて、様々な教科の様子を見学することができました。また、図書館などの校舎内の施設も見学でき、興味が惹かれたところで各々立ち止まる6年生の姿が見られました。



授業参観後は、一度教室に戻り、中学校の生活や学習、部活動についての紹介動画を視聴しました。その後は、再びグループに分かれ、部活動の見学を行いました。見学したい部活動にまっすぐ向かっていくグループ、先輩の誘いに導かれて見学に行くグループなど、それぞれに活動する様子が見られました。



授業参観後は、一度教室に戻り、中学校の生活や学習、部活動についての紹介動画を視聴しました。その後は、再びグループに分かれ、部活動の見学を行いました。見学したい部活動にまっすぐ向かっていくグループ、先輩の誘いに導かれて見学に行くグループなど、それぞれに活動する様子が見られました。

湖北台中学校区

1月30日に、湖北台中学校区で小中一貫の日を実施しました。



最初に、湖北台中学校の体育館で生徒会役員の1年生から6年生に向けて、中学校での生活や学習の様子、小学校との違いなどについて紹介しました。事前に撮影した動画を視聴すると、中学生が6年生に親しみやすい言葉で語っていて、和やかな雰囲気でのスタートとなりました。

続いて、2つの小学校の6年生が交流できるようにグループを大きく4つに分けて、教室に入ります。誘導や6年生への指示は、代表の中学生が行いました。教室では、それぞれの小学校の先生方が前に立ち、アイスブレイクを実施。学校を越えてたくさんの6年生が楽しく交流できる工夫がされていて、ゲームをとおしてたくさんの会話が生まれていました。後半は、中学校の先生による英語と理科の授業体験を行いました。最後に、部活動見学をして終了です。天候に恵まれ、全ての部活動を参観することができました。



6年生にとっては、1つ年上の中学校1年生が活躍する姿を見て、中学校生活への期待が高まったようです。

我孫子中学校区

1月30日に、我孫子中学校区で小中一貫の日を実施しました。

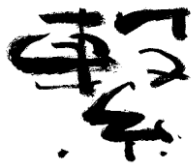


最初に、各小学校の6年生はグループに分かれて、中学生の案内で学校施設の見学と、授業の見学を行いました。その後、体育館へ集合すると、集会を始める前に小学生からの質問コーナーを実施しました。当初の予定にはありませんでしたが、小中学生が互いに積極的にコミュニケーションを

とり、有意義な時間となりました。

続いて、代表生徒による集会です。中学校での生活や、学習、部活動などの様子について、動画を視聴しながら、中学生の説明を聞いた6年生。動画の中で生き生きと活躍する姿に、また集会を堂々と運営する姿に、憧れをもった人も多かったのではないかと思います。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年3月12日

我孫子市小中一貫教育だより

第331号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども

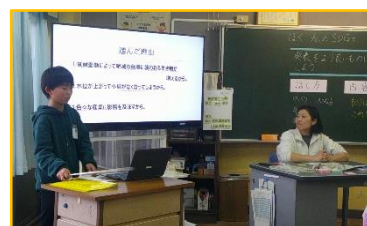


布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-キャリア・Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「ぼく、わたしのSDGs」

2月21日、湖北台東小学校の第5学年で、Abi-キャリアの学習として総合的な学習の時間の単元「ぼく、わたしのSDGs」の授業が行われました。SDGs（持続可能な開発目標）から興味を持った一つの目標を児童それぞれが選び、それについて調べたこと、自分にできることなどを一人一台端末を用いてスライド資料を作成していました。単元の最後には、3・4年生に発表することを目指していました。



本時では、一通り作り上げたスライドをもとに発表の練習をし、仲間からアドバイスをもらい、より良い発表にすることが目的です。先生から「話し方」「内容」「スライド」「言葉」の4つのポイントが提示され、「発表する時、具体的にどんなことに気をつければよいか」を問われると、「ゆっくり笑顔で」や「自分が何をやるのかははっきり伝える」や「優しい言葉」などの意見が自然と児童から出てきて、これまでの学びがいかにされていることに感心しました。

みんなの前で発表練習をした児童は、視覚的な工夫をしていたり、クイズを取り入れていたり、レベルの高い発表をしていましたが、「よかったこと」以外にも、「3年生には言葉が難しいのでは？」「もう少し図を見る時間をとってほしい」など、発表を聞く側の視点から、「改善点」も付箋にまとめ、的確なアドバイスをしていました。

湖北台東小学校は、学校組織で授業におけるICTの活用に取り組んでいます。また、アドバイスを通して互いに学び合い、その姿を下級生に見せていくことで、上級生の理想の姿をつないでいくキャリア学習としても、是非多くの先生方に参観してもらいたい授業でした。

Abi-ふるさと「松岡鼎」

2月26日に、久寺家中学校の第1学年で、Abi-ふるさとの学習、我孫子の先人「松岡鼎」についての授業が行われました。

最初に学習課題として、「松岡鼎の生き方に触れ、我孫子市や身近な地域のためにできることを考えよう」と提示されると、まずは身の回りで地域のために活動している人について、生徒たちは、ボランティアでパトロールやゴミ拾いをしている方や、警察、消防士、タクシーやバスのドライバーなどを挙げました。



続いて、我孫子の先人「松岡鼎」が紹介されると、「松岡鼎」の経歴や地域への貢献について調べ、ワークシートにまとめます。松岡氏が生きた当時の我孫子の様子が話題になると、スライドの資料や先生の話に興味深く受け止める子ども達。そして、松岡氏が、医師として、政治家として、そして市民として、家族の協力も得ながら様々な形で地域貢献をしたことを学びました。

最後に、我孫子市や身近な地域のために自分たちができることについて考えます。地域の環境美化に向けたゴミ拾いなどのボランティア活動、また地域の雰囲気をよくするために挨拶をすることなどが挙げられました。また、選挙等で地域を良くできるようなリーダーを決めるといった意見も出され、みんなで共有しました。

これから、社会科や総合的な学習の時間等で、さらに地域への理解を深め、現実的に自分たちができることについて考えていきます。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年3月12日

我孫子市小中一貫教育だより

第332号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

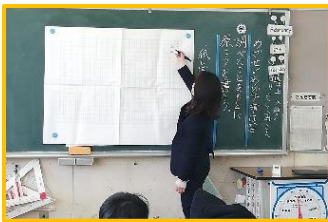
Abi-ふるさと・Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「目させ！我孫子市はかせ」

2月27日に並木小学校の3年生が Abi-ふるさとの一環として総合的な学習の時間「目させ！我孫子市はかせ」と題した単元の授業を実施しました。本単元は1学期から継続して実施しており、ここまでに社会科見学などを通して我孫子市のことを学んできたものの中から自分が興味・関心があることを選び、紙芝居にしてみんなに紹介するというものです。

本時では「調べたことをもとに原こうを書こう。」を学習目標とし、紙芝居の原稿づくりに取り組みました。授業がはじまると先生から原稿の書き方について説明がありました。1 ページ目は「調べたテーマ、理由、方法」ということを復習し、前時に書いた原稿を確認しました。その後、本時の目標である「調べたこと」について説明があり、先生から「聞き手のことを考えて書きましよう。」と助言がありました。

先生からの説明を聞くと児童たちは自分たちのノートやタブレットを開き、早速原稿づくりに取り掛かります。児童のノートを覗いてみると、ここまでの授業や調べ学習で学んだ内容をびっしりとノートにまとめている児童がほとんどでした。先生は教室内を巡回しながら児童一人一人に声をかけ、書き方のアドバイスをしたり、手助けをしたりしていました。我孫子の鳥や伝統的な行事など、児童各々が興味あることをしっかりと調べ、自分の言葉でまとめている姿をみて、今回の単元の授業をとおして児童ひとりひとりが「我孫子市はかせ」に近づいていることを感じました。



Abi-キャリア「自分発見」

2月29日に並木小学校の4年生が Abi-キャリアの一環として総合的な学習の時間を活用して「自分発見」と題した単元の授業を実施しました。本単元は1学期から継続して実施しており、ここまでに「自分の成長を振り返って・1/2 成人式」「自分・仲間のいいところ探し」に続いて行われたものでした。

学習課題は「なりたい自分に向けてできることを見つけよう」です。事前に配付されたワークシートに沿って「①どんな自分になりたいか②なりたい自分のためにどんな力が必要か③力を身につけるために毎日できること」を考えて記載します。全員が一生懸命、よく考えながら感心させられるほどの文章力で記載していました。

続いて班で共有します。子ども達は顔を寄せ合って自分の考えを仲間に伝えていました。担任からは仲間の発言に対して、うなずくなどの肯定的な姿勢をもって聴くように指示がありましたが、それに加えて「～がとてもいいね」「～した方がいいかもしれないよ」とか、その後の班発表に対するアドバイスが自然に為されていました。

発表の場面では、班の代表者が上手にまとめながら発表しました。その際、聴く側の子ども達は発表者の方に体をしっかりとむけ、発表後に「いいと思います」という声かけと温かい拍手を送っていたのが印象的であり、授業規律がしっかりしていると同時に、温かい学級の雰囲気伝わってきました。

最後のふりかえりでは「自分のできること、やるべきことを確認できてよかった」「5年生にしっかりと進級できるように頑張る」といったことが書かれており、本時の授業のねらいが達成されたことを感じました。

